

2018年2月9日

日本情報科教育学会第10回研究会のご案内(第3報)

日本情報科教育学会 研究委員会
(担当 近畿・北陸支部)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本学会の事業につきまして、平素より格別のご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本学会研究委員会主催の第10回研究会を近畿北陸支部担当で、下記の通り開催することになりましたのでご案内いたします。多数の方が参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

記

1.日 時:2018年3月21日(水) 研究会:12:55~16:45(予定)

2.場 所: 帝塚山学院大学 泉ヶ丘キャンパス

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台 4-2-2

<http://www.tezuka-gu.ac.jp/access/>

大阪市内より約35分 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅から 南海バス4番のりば(17系統)で約8分、はるみ小学校前(帝塚山学院大学前)下車すぐ

3.プログラム 12:55~16:45

11:00~11:30

近畿・北陸支部総会

11:00~受付開始

昼食会(11:30~12:45)

12:55~ 西野 和典 (九州工業大学)

13:00~14:15 口頭発表(18分×4)

1. プログラミング教育は簡単をめざすのか?

山下 裕司 (山口県立岩国高等学校)

2. 情報科教育のためのプログラミング教室の実践

西 誠 (金沢工業大学)

3. 「情報の科学」での「micro:bit」によるプログラミング教育の可能性

~小学校から高校までの一貫したプログラミング教育~

高橋 参吉 (帝塚山学院大学)、喜家村 奨 (帝塚山学院大学)、

西野 和典 (九州工業大学)

4. カリキュラム・マネジメントにおける教科横断的な情報科教材の提案
～数学科におけるプログラミングで学ぶ情報科教材の活用とその効果～
佐藤 万寿美 (伊丹市立伊丹高等学校)

14:15～14:55 休憩(デモ発表を含む)

デモ発表1「micro:bitとアーテックロボを使用した

小・中・高等学校用プログラミング教材について」

喜家村 奨 (帝塚山学院大学)、高橋 参吉 (帝塚山学院大学)

デモ発表2「平投射型電子黒板システムの開発」

江見圭司 (京都情報大学院大学)

14:55～15:50 口頭発表(18分×3)

5. 課題解決型学習において学校図書館の情報環境をどのように活かすか
-司書から学習者・教授者双方への情報支援-
山崎勇氣 (清教学園中・高等学校)
6. 高校生のためのパソコン操作の指示および習得支援システムの開発
梅本 雄史 (長崎総合科学大学 大学院工学研究科)
7. ルーブリックによる高大情報教育接続に向けた一提案
林 康弘 (帝京平成大学)

15:50～16:40 パネルディスカッション 「新学習指導要領について」

16:40～16:45 閉会あいさつ

○ 昼食会 研究会に先立ち、昼食会(11:30～12:45)を予定しております。

(懇親会は予定していません)

○参加費会員・非会員とも無料

資料代については、非会員の場合は、500円程度徴収することがあります

○研究会担当

近畿・北陸支部 北野 堅司 kenkyu-paper@jaeis.org